

# 2023 ズバリ! 的中



# 日本史

## 立命館大学

引用史料と空欄補充問題・選択問題で問われた内容が的中!

### 入試問題

2月3日実施  
全学統一方式(文系)  
II [2] (d)~(h)

### 河合塾

大学受験科 基礎シリーズ  
完全習得タイム日本史  
第10講 2問4・問6・問11

II 次の文章[1]~[4]を読み、(a)~(o)の問いに答えよ。なお、設問中の史料は読みやすく改めている箇所がある。

[1] 一揆と言え、江戸時代の農民による群衆蜂起すなわち百姓一揆(農民一揆)や、戦国時代の宗教一揆(一向一揆・法華一揆)の印象が強い。しかし、本来、一揆には「揆を一にす」つまり「団結して共に行動する」という意味があるように、必ずしも蜂起や反乱を指すわけではなく、農民だけが行うものでもなかった。たとえば、南北朝の頃から、守護の支配に対抗すべく、在地の武士達が地縁的なつながりから [A] 一揆を結んだことが知られる。また、団結を誓うため、神仏の前で [B] を焼いた灰を入れた水を一揆の参加者全員で飲む「一味神水」も行われた。同じく南北朝時代から顕著になったのが、荘園の住人達が領主に年貢減免などの交渉を行う際に結んだ「荘家の一揆」である。こうした動きは、のちに、惣掟を定め自ら裁判権を行使する [C] を行うなど、自治的に村落を運営した惣村の形成へとつながってゆく。

- (a) 空欄 [A] にあてはまる、もっとも適切な語句を答えよ。  
(b) 空欄 [B] にあてはまる、もっとも適切な語句を下から一つ選び、記号で答えよ。  
① 曼荼羅 ② 起請文 ③ 傘連判状 ④ 具注暦  
(c) 空欄 [C] にあてはまる、もっとも適切な語句を答えよ。

[2] 室町時代になると、「土民」と呼ばれた民衆による一揆が頻発する。それらは当時の首都である京都だけでなく諸国にも拡がった。その様子を示す以下のような史料がある。

- ① 「一天下の土民蜂起す、[D] と号し、酒屋・土倉・寺院等を破却せしめ、雑物等 恣にこれを取り、借銭等 悉くこれを破る。管領これを成敗す。」  
(『大乗院日記目録』)

### 【私大対策 共通問題】

② 次の史料A~Eを読んで、以下の問に答えよ。

A 九月 日、一天下の土民蜂起す。[1] と号し、酒屋・[2]・寺院等を破却せしめ、雑物等 恣にこれを取り、借銭等 悉くこれを破る。管領これを成敗す。凡そ亡国の基、これに過ぐべからず。日本開国以来、土民蜂起は初めなり。

B 或る人曰く、[3] 国の土民、旧冬の京辺の如く蜂起す。国中の侍を悉く攻むるの間、諸庄園代官のみならず守護方軍兵、彼らのために或いは命を失い、或いは追い落さる。一国の騒動、希代の非法なりと云々。凡そ土民の申すところは、侍をして国中に在らしむべからずと云々。乱世の至りなり。よって赤松入道発向し了んぬ者。

C 近日、四辺の土民蜂起す。[4] と号し、御 [1] と称して、借物を破り、少分をもって買物を押し請く。神江州より起る。(中略) 今日、法性寺の辺にこのことありて火災に及ぶ。[5] 多勢を以て防戦すれども、なお承引せず。土民数万の間、防ぎ得ずと云々。賀茂の辺か、今夜時の声を揚ぐ。(中略) 今土民ら、代始めにこの沙汰は先例と称すと云々。言語道断のことなり。(中略)

定む [1] のこと

右、一国平均の沙汰たるべきの旨、触れ仰せられ訖んぬ。早く存知せしむべきの由、仰せ下さるる所なり。仍て下知件の如し。

[6] 元年九月十二日

中務少輔源朝臣

D 今日 [7] 国人集会す。上は六十歳、下は十五六歳と云々。同じく一国中の土民等群集す。今度、兩陣の時宜を申し定めんがための故と云々。しかるべきか。但し又 [8] のいたりなり。

(中略) 今日 [7] 国人、[9] に集会す。国中の掟法なおこれを定むべしと云々。およそ神妙。但し興成せしめば、天下のため、しかるべから

